

(市長と語る会資料)

平成 28 年 11 月 9 日

氷見市長 本川祐治郎 様

要 望 書



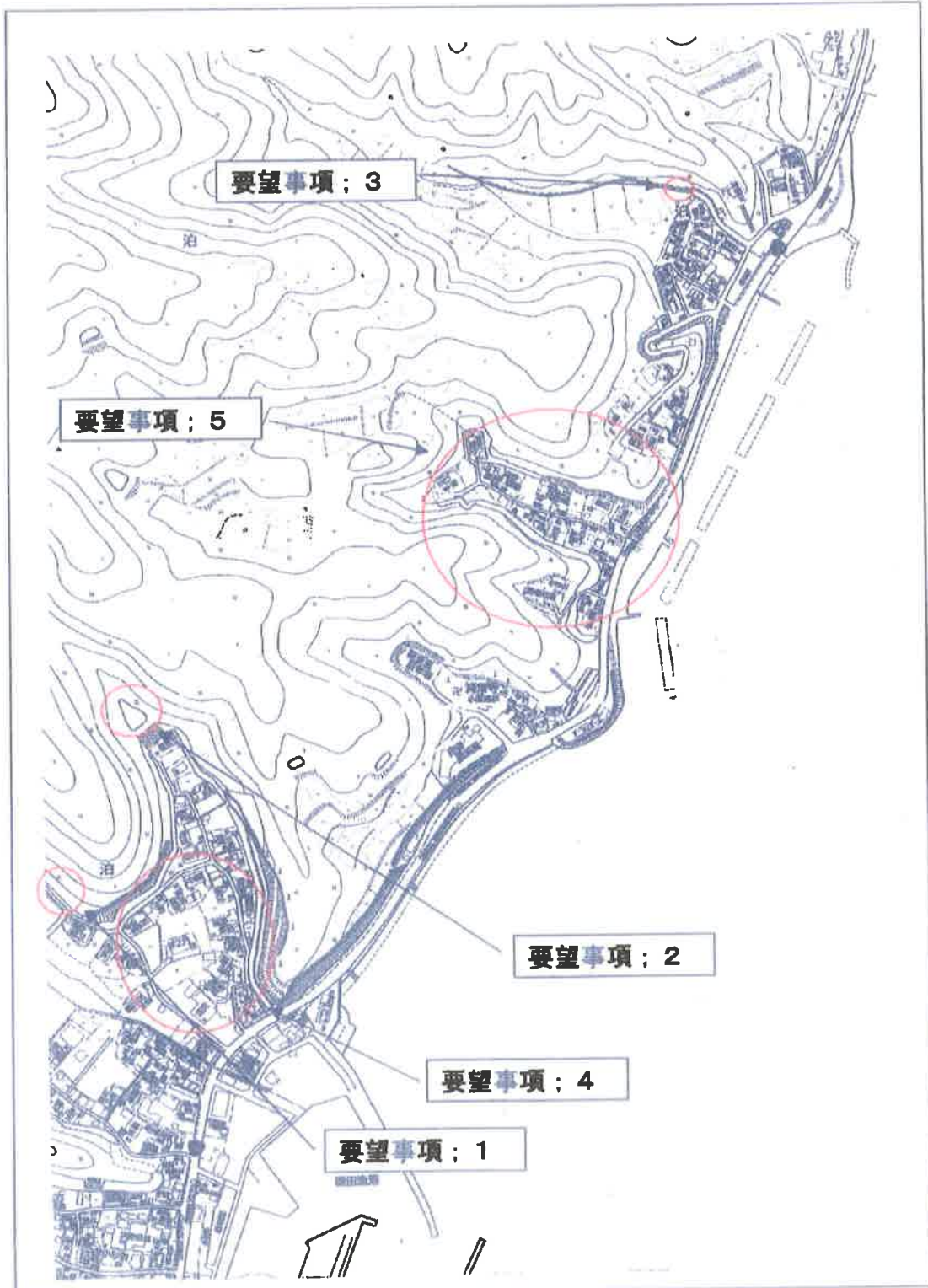
泊地区自治会

区長 出崎栄



位置図

*以下の「泊地内」地図のうち、赤く塗った箇所の近辺。



要望事項；1

「瀬間田地内、急傾斜箇所の補修工事の実施」 H28-050-001

1. 要望理由と現状

去る、平成28年1月11日早朝、市道瀬間田線・急傾斜箇所で、崖の落石・崩落事故が発生しました。（参照；添付写真。直径約1m位の岩石2個、他）事故発生時には、市役所の担当部署へ報告し、岩石の除去、注意の喚起、などの応急的な処置をしていただきました。

この近辺は、40年位前に、県による急傾斜工事はされていますが、今回落石があった場所は急傾斜工事の終端より20mくらい離れたところにあり、過去にも落石があった箇所でもあります。現場では、肉眼で、他にも亀裂が入っている箇所が確認できています。地区住民・自治振興会役員共々、非常に憂慮すべき事態であるとの認識を持っているところであります。

崩落箇所の近辺には日常生活があり、この市道を行き来する人・自動車等もあります。

地区住民の生活道路として、安全性をしっかりと確保されるよう、根本的な対策をお願いするものです。

なお、ニュース等で報道されました島根県で起きた落石事故（直径1m、約2t）での死亡事故は決して他人事とは思えません。最大限の危機感を持って、関係部署に対して、最優先で補修工事を実施していただくことをお願いするものであります。

2. 具体的な要望事項

市道瀬間田線（ 宅車庫付近）沿線の急傾斜法面の崩落防止対策工事を早期に実施いただくことを要望いたします。

平成 28 年 1 月 11 日

宅横市道落石状況



要望事項；2

「集中豪雨による被害防止対策工事の実施」 H28-050-002

1. 要望理由と現状

「瀬間田谷内 通常砂防事業」は平成24年3月に全体計画が認可されましたが、事業の進展は見られておりません。一方で、未だに、梅雨時や台風の襲来などの豪雨時には、地下に潜った大量の雨水が下方の家屋に被害を与えるという事態が継続して発生しております。

この件について、市に対して、地区住民の安心・安全をしっかりと確保されるよう応急処置的対応をお願いするものであります。

2. 具体的な要望事項

砂防ダム築造予定箇所から市道側溝起点までの大雨時の排水対策を実施していただくことを要望いたします。

平成 28 年 1 月 11 日

宅裏市道側溝起点上流側の状況（旧ため池の表面）



旧ため池から市道側溝に流れ込む状況



平成 28 年 1 月 11 日

宅横市道側溝起点の状況



要望事項 ; 3

「 宅前(神明社側)に街灯の新設、設置」H28-050-003

1. 要望理由と現状

当該街灯の新設、設置要望はこれで3年連続して提出しています。

 氏は、地区内では人口/家屋減が続いている中で、二十数年ぶりに新たな地所で新築して頑張ってくれています。このため近辺には街灯がなく、子供もまだ小さいことから、自治会としても優先して、早急な新設、設置をお願いするものであります。

2. 具体的な要望事項

3年も同じ理由で待たされ、我慢も限界でとなっています。市長の政治決断で、設置していただくことを要望いたします。

要望事項；4

「瀬間田地区内市道の拡幅、急カーブ箇所の改修」

H28-050-004

1. 要望理由と現状

瀬間田地区内の市道は幅が狭く、また、急カーブ箇所も多いため、一般車両はもとより、救急車や消防車が地区内に入るにも大変な支障が生じております。

昨年の冬期には、急病人が出て、救急車を呼んだものの、これらの急カーブ箇所を曲がりきれず、時間を掛けて前進/後進を繰り返し、辛うじて急病人宅前にたどり着くという状況でした。しかも、国道に出る先には急カーブ箇所があって、先に進めないため、来た道を時間を掛けて、また、戻り、ようやく国道に辿り着くという状況でした。

地区内のメインとなる市道は、いざという時には、救急車や消防車が前進のまま、周回して、国道に到達できるようにしないと、緊急性を要する事案に対して、手遅れとなることとなります。また、次世代を担う若者達にとっても住みよい、利便性の高い地域としていくためにも市道の改修は重要です。

2. 具体的な要望事項

瀬間田地区内市道の拡幅、急カーブ箇所の改修をしていただき、地域内住民が安心して暮らし、利便性の高い地区へ脱皮させていただくことを強く要望いたします。



(C)Yahoo Japan,(C)ZENRIN

マップコード:  649 528 304*71 緯度経度: 北緯 36度53分51.03秒 東経 137度0分23.97秒



要望事項 ; 5

「急傾斜擁壁部の破損箇所及び市道の崩落箇所の改修」

H28-050-005

1. 要望理由と現状

県土木等が担当する急傾斜擁壁部破損部や国道、市道の崩落箇所の補修について、長年、繰り返し、繰り返し要望していますが、県及び市の対応が大幅に遅れています。具体的には、

1) 急傾斜擁壁部の破損

宅裏、宅車庫裏、横擁壁部中段のコンクリート部分の損傷

2) 急傾斜擁壁部付近の雑木の垂れ下がり

宅裏、宅横、宅裏、宅裏、宅裏、宅裏、宅裏、宅周辺、宅周辺

3) 宅下市道斜面の崩落

4) 国道 160 号線斜面崩落対策要望箇所（防火用水北側の国道沿い箇所）

について、お願いをしております。

2. 具体的な要望事項

県土木及び市の担当部署が密に連携して要望事項の実施をお願い致します。

以上

平成 28 年 3 月 26 日

宅付近急傾斜擁壁通路コンクリートひび割れ状況



平成 27 年 4 月 4 日撮影

氷見市 [REDACTED] 車庫裏 急傾斜擁壁下部側溝破損状況

左側：車庫、右側：急傾斜擁壁



平成 28 年 1 月 11 日

急傾斜よう壁上部雑木の状況

宅裏



宅横



平成 28 年 1 月 11 日

急傾斜よう壁上部雑木の状況

宅裏



宅横



平成 28 年 1 月 11 日

急傾斜よう壁上部雑木の状況

宅裏



宅裏



国道 160 号線斜面崩落対策要望箇所

* 防火用水側の復旧工事は 4 月に部分的な対応をしていただきましたが、これに続く七尾側は、いつ崩落するかわからない状況にあります。これからも、冬季から春先に向けて、崩落の危険性が増してきます。早急な対策をお願い致します。歩行者、自転車に被害が出てからでは遅い。

防火用水付近の落石破損状況（平成 28 年 2 月 26 日撮影）



復旧工事施工後（平成 28 年 4 月 14 日撮影）

